

木育出前講座

～ふくしまの木のカタネットをつくって遊ぼう！～

令和7年1月21日(火)

「木育出前講座」を実施しました。今年度初めての取り組みで、福島県中農林事務所森林林業部の方が来てくださり、福島県産の木を使ってカタネットづくりをしました。4・5歳が対象だったため、すみれ組とひまわり組が参加しました。

*記録の視点*幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿

- 健康な心と体 自立心 協同性 道徳性・規範意識の芽生え
- 社会生活との関わり 思考力の芽生え 自然との関わり・生命尊重
- 数量や図形、標識や文字などへ関心・感覚 言葉による伝え合い 豊かな感性と表現



小さい穴にゴムを通して、カタネットの形にしています。集中しながら手先を器用に動かしていました。



個性豊かでかわいらしいカタネットが完成しました。欠席した子の分の材料もいただいたので、後日担任と一緒に制作しました。

紙芝居を見せてもらったあと、身近にある木でできたものを探してみます。机、椅子、床、ピアノなど、木でできているものがたくさんあることに気づくことができました。



もともとは鯉がモチーフのカタネットですが、それぞれいろいろなものに見立てて自由に模様を描き入れました。

最後に完成したカタネットで「さんぽ」の演奏をしました。音色を聴くと「あったかいね」と話し、木のぬくもりを感じている様子でした。



福島県産のケヤキの木からできたカタネット。「木のいい匂いがする」「ひとつひとつ色が違うね」とよく観察しながら制作していました。



紙やすりで削り、表面をなめらかにする工程にも挑戦しました。コツを掴むと、まるで職人のように熱心に削る子もいました。



実は、幼稚園の園庭にも今回のカタネットの材料になったケヤキの木があります。探してみてくださいね。



今回講師で来てくださった職員の方より…「木の年輪の数は、1年育つごとに1本ずつ増えていきます。木も生きているんです。私たちの生活は、木からできているものにたくさん支えられていますので、大切に思ってくれたら嬉しいです。」

